



“わたしたちの社協の一押し事業 2017”



みんなの福祉センターまつり+1(プラスワン)

／八千代市社会福祉協議会

事業名：みんなの福祉センターまつり+1（プラスワン）

○具体的な内容・中身

・毎月第3土曜日、八千代市福祉センター全館を使用し、子どもからお年寄りまで性別や障がいの有無に関係なく、どなたでも楽しむことが出来る様々なイベントを同時開催。

●コーヒーと音楽の集い

歌声喫茶スタイルをとり、参加者と一緒にコーヒーと飲みながら語り、歌を歌いながら楽しいひと時を共有。

●八千代おもちゃの図書館&おもちゃ病院

おもちゃを通じて心のふれあいが出来る場の提供。おもちゃの貸出や修理、子育て相談や交流会を実施。

●紙芝居・読み聞かせ ひ☆ろ☆ば

紙芝居と絵本の読み聞かせを交互に実施。途中、ハーモニカ演奏や手遊び・昔遊び等も実施。

●み・る・くとおんがく～♪うたってあそぼ♪

コーヒーと音楽の集いの乳幼児版。子ども向けの歌を歌う以外にも童謡やゲームをしながら楽しいひと時を共有。

●絵手紙ふうせん&ロータスクラブ

参加者が気軽にボランティア体験をして頂くために2つのボランティア体験コーナーを設置。「絵手紙ふうせん」では四季折々の身近なモチーフを絵手紙に添えての作品制作。作成した絵手紙は福祉センター内に展示。「ロータスクラブ」では古切手の回収整理を体験して頂く。

○その事業を始めたきっかけ

・今から30年程前、市内で障がいのある方々が中心となり、音楽を通じて参加者が一緒に楽しむ場として「コーヒーと音楽の集い」が開催されていたが、およそ10年間の活動後、惜しまれながらも会は解散してしまった話を伺い、社協として「市民の皆様がお互いを理解し、共に支え合い、住みやすい街づくり」を実践していく一つの事業として平成20年6月に「コーヒーと音楽の集い」を復活させ、福祉センターにおいて毎月第3土曜日に開催。

・当初は高齢者や障がい者の参加がほとんどであり、もっと沢山の子ども達も参加してほしいという想いのもと、平成22年4月に「八千代おもちゃの図書館&おもちゃ病院」、同年7月に「み・る・くとおんがく」と「紙芝居・読み聞かせひ☆ろ☆ば」を第3土曜日に同時開催し、子どもからお年寄りまでどなたでも色々なイベントに参加できるという想いを込めて、毎月第3土曜日のイベントをトータルして「みんなの福祉センターまつり」と改名する。

・更に参加者が各イベントの待ち時間等を活用し、気軽にボランティア体験をして頂くために、平成24年7月に2つのボランティア体験コーナー（絵手紙ふうせん&ロータス

クラブ)を設置し、名称も「みんなの福祉センターまつり+1(プラスワン)」に改名し現在に至る。

○事業の特長、特に強調したい点

- ・参加者は平成25年度：3,813名(12回開催)、平成26年度：3,552名(11回開催)、平成27年度：4,356名(12回開催)で毎回350～400名程の参加者である。
- ・イベント時には毎回アンケート調査を実施し、常に参加者の意見や要望等を把握しながら更により良いイベントを実施出来るように努めている。
- ・また、参加者のみならずボランティア同士の交流も盛んになった(コーヒーと音楽の集いのボランティアが時間の合間にロータスクラブの活動に参加等)。
- ・年1回のイベント等とは違い、毎月決められた曜日にイベントを開催することにより、徐々にではあるが福祉センターに来館される方も年々増加傾向にある。

○事業の財源と事業費の内訳、業務量(事務量、負担感・協力者の人数等)

- ・「コーヒーと音楽の集い」は飲み物・お菓子代として1人200円徴収。「みるくとおんがく」は、お菓子代として1家族200円徴収。「絵手紙ふうせん」は、材料費として1人100円徴収。それ以外のイベントは無料。
- ・社協より共同募金配分事業費：120,000円(運営費・材料費)で事業実施。
- ・イベント時には毎回担当職員が1名出席し、各種調整や指示、緊急時の対応等を行っている。
- ・ボランティアはイベント毎に10～20名程参加・協力。ボランティア自身も参加者という意思があり、一般の参加者と一緒にイベントを楽しんでいる。

○事業の効果、住民・関係者からの評価

- ・福祉センターというイメージがどうしても高齢者や障がい者の施設と思っている方が多かったが、本事業を開催することによって沢山の子ども達や若いお父さんお母さん達も来所するようになったので、子どもからお年寄りまでどなたでも楽しむことが出来る場の提供及び福祉センターを多くの方に活用して頂くという本来の目的に貢献していると思われる。
- ・ただし、問題もある。イベントによっては参加人数のバラつきがあったり、ボランティアの不足や高齢化についても今後検討していかなければならない。また、マンネリ化を防ぐために新規イベントを現在計画中である。

○今後、同じような活動を始めるに当たってのヒント・アドバイス

- ・定期的なイベントの方が市民に周知されやすいが、その分マンネリ化する可能性があるため、常にボランティアと意見交換し、同時に信頼関係を構築しながら事業を展開したほうが良いと思われる。
- ・また、協力して頂けるボランティア自らが「このイベントを作っている」と思ってもらえるよう、職員には工夫が求められる。

この事業に関する問合せ先：八千代市社会福祉協議会(担当：地域振興課 湯浅潤也)

☎047-483-3021

(平成29年4月6日作成)

みんなの福祉センターまつり+1

★全市民を対象に、平成20年度から毎月第3土曜日開催



子どもと
保護者の
ために



親子で自
由に遊べ
る空間



教養や趣
味の一環
として



気軽にボ
ランティア
体験



全ての人
の交流の
場として



みるくとおんがく



紙芝居・読み聞かせひろば



おもちゃの図書館



おもちゃ病院



絵手紙ふうせん



ロータスクラブ



コーヒーと音楽の集い